

2014年2月13日

公益財団法人 日本サッカー協会
2014年度 第2回理事会

協議事項

1. 日本人指導者海外派遣の件
<p>(協議) 資料No. 1</p> <p>チャイニーズ・タイペイサッカー協会からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として、下記の指導者を派遣したい。</p> <p>派遣指導者：鈴木 大地(すずき だいち) (27歳)</p> <p>派遣先協会：チャイニーズ・タイペイサッカー協会 (CTFA)</p> <p>資 格： JFA公認B級ライセンス (2010年取得) JFA公認B級GKライセンス (2012年取得) JFA公認A級GKライセンス取得見込</p> <p>役 職：チャイニーズ・タイペイ女子代表GKコーチ</p> <p>契約期間：2014年3月1日～2016年9月19日</p> <p>費用負担：[JFA]傷害保険料、引越し運送賃 [CTFA] 給与、住居費、自動車、日本-台北往復航空券</p> <p>略 歴：添付別紙のとおり</p> <p><背景及び実施理由></p> <p>2014年度第1回理事会でご承認頂いたように、CTFAは柳楽雅幸氏を女子代表監督に昇格させたが、それに伴い同女子代表チームのGKコーチの派遣をJFAに依頼してきた。給与も全額チャイニーズ・タイペイ政府が負担するとのこと。候補者より選考の結果、鈴木大地氏が適任との結論に達したので、上記の通り派遣したい。</p>
2. JFA女子インターナショナル・コーチング・コース2014 (AFC加盟協会向け) の件
<p>アジア貢献事業の一環として、下記の指導者養成コースを開催する。</p> <p>FIFA女子ワールドカップ2011優勝以来の女子サッカーの普及・発展を受け、日本が女子サッカーにおいて海外、アジア諸国からも注目、期待が高まっている為、今回初めて、女性指導者を対象として開催する。</p> <p>コース名： JFA女子インターナショナル・コーチング・コース2014 (AFC加盟協会向け)</p> <p>期 間： 3月15日(土)～20日(木)</p> <p>会 場： J-GREEN 堺</p> <p>講 師： ナショナルコーチングスタッフ、ナショナルトレセンコーチ</p> <p>募集人数： 20名(最大)</p> <p>応募資格： ①AFC加盟協会にて、女子サッカーに携わる、英語が堪能な女性指導者 ②各協会から最大2名が応募可能</p> <p>費用負担： 日本までの国際航空券代は、参加協会または参加者が負担する。 参加者の宿泊費(食費込)は国際交流基金の助成を受ける予定。その他の費用はJFAが負担する。</p> <p>備 考： 第1回は2006年3月13日～19日にJヴィレッジで開催し20名が参加。</p>

第2回は2007年3月12日～18日にJヴィレッジで開催し20名が参加。
 第3回は2008年4月19日～25日にJヴィレッジで開催し26名が参加。
 第4回は2009年3月9日～15日にJヴィレッジで開催し19名が参加。
 第5回は2010年2月27日～3月5日にJヴィレッジで開催し26名が参加。
 第6回は2012年4月15日～4月24日にJ-GREEN 堺にて開催し28名が参加。

3. 国際委員会 委員追加の件

(協議) 資料No.2

以下の2名を在海外 国際委員に追加したい。

① 梅田 邦夫 (うめだ くにお) / 駐ブラジル日本国大使

② 梨田 和也 (なしだ かずや) / 駐イラク日本国大使

新委員候補者の略歴は、別紙の通り。

4. 第36回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会の件

第36回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会(2014/2015)を、以下の通りに開催したい。

(1)開催日程

第94回天皇杯の決勝戦が例年の1月1日ではなく12月13日に開催することから、第36回大会に限り決勝戦を2015年1月1日とし、下記の通り本大会を開催したい。

日 程 : 1回戦 2014年11月29日(土)・30日(日)
 2回戦 2014年12月6日(土)・7日(日)
 3回戦 2014年12月13日(土)・14日(日)
 準々決勝 2014年12月21日(日)
 準決勝 2014年12月28日(日) / 東京・味の素フィールド西が丘
 決勝 2015年1月1日(木・祝) / 東京・味の素スタジアム

※決勝及び準決勝以外の会場は、主管募集により決定する。

(2)強化費

第36回大会より、チーム強化費として、出場チームに下記の基準にて本協会が支払う。

優 勝 3,000 千円
 準優勝 2,000 千円
 3 位 1,000 千円 (1チームあたり)

※上記金額には消費税が含まれる。

<他競技会の強化費(参考)>

◆天皇杯

優 勝	100,000 千円
準優勝	50,000 千円
3 位 (×2)	20,000 千円

◆PUMA CUP (フットサル)

優 勝	1,000 千円
準優勝	500 千円
3 位	300 千円

5. J F A ・ J リーグ特別指定選手制度の件

(協議) 資料No.3

2014年シーズンの J F A ・ J リーグ特別指定選手制度を別紙の通りとしたい。

6. 女子：特別指定選手制度の件																														
<p>(協議) 資料No.4</p> <p>2014年シーズンの女子特別指定選手制度を別紙の通りとしたい。</p>																														
7. 地域育成審判インストラクター契約の件																														
<p>(協議) 資料No.5</p> <p>次の10名の審判インストラクターと地域育成審判インストラクター契約を締結したい。 契約期間は、2014年3月1日～2015年2月28日。</p> <p><更新></p> <table border="0"> <tr><td>① 北海道</td><td>木島 栄 (きじま さかえ)</td><td>55 歳</td></tr> <tr><td>② 東北</td><td>伊藤力喜雄 (いとう りきお)</td><td>56 歳</td></tr> <tr><td>③ 関東</td><td>植村 久 (うえむら ひさし)</td><td>63 歳</td></tr> <tr><td>④ 関東</td><td>安元 利充 (やすもと としみつ)</td><td>48 歳</td></tr> <tr><td>⑤ 北信越</td><td>下村 昌昭 (しもむら まさあき)</td><td>51 歳</td></tr> <tr><td>⑥ 東海</td><td>福岡 幹男 (ふくおか みきお)</td><td>62 歳</td></tr> <tr><td>⑦ 関西</td><td>三宅 毅 (みやけ つよし)</td><td>58 歳</td></tr> <tr><td>⑧ 中国</td><td>青木 隆 (あおき たかし)</td><td>55 歳</td></tr> <tr><td>⑨ 四国</td><td>河野 暁 (かわの さとる)</td><td>58 歳</td></tr> <tr><td>⑩ 九州</td><td>大庭 弘毅 (おおば こうき)</td><td>61 歳</td></tr> </table> <p>※④安元利充氏、⑤下村昌昭氏、⑧青木 隆氏、⑩大庭弘毅氏は新規。 他6名は2013年に続いての契約。</p> <p style="text-align: right;">(年齢は2014年3月1日現在。リストは地域順)</p>	① 北海道	木島 栄 (きじま さかえ)	55 歳	② 東北	伊藤力喜雄 (いとう りきお)	56 歳	③ 関東	植村 久 (うえむら ひさし)	63 歳	④ 関東	安元 利充 (やすもと としみつ)	48 歳	⑤ 北信越	下村 昌昭 (しもむら まさあき)	51 歳	⑥ 東海	福岡 幹男 (ふくおか みきお)	62 歳	⑦ 関西	三宅 毅 (みやけ つよし)	58 歳	⑧ 中国	青木 隆 (あおき たかし)	55 歳	⑨ 四国	河野 暁 (かわの さとる)	58 歳	⑩ 九州	大庭 弘毅 (おおば こうき)	61 歳
① 北海道	木島 栄 (きじま さかえ)	55 歳																												
② 東北	伊藤力喜雄 (いとう りきお)	56 歳																												
③ 関東	植村 久 (うえむら ひさし)	63 歳																												
④ 関東	安元 利充 (やすもと としみつ)	48 歳																												
⑤ 北信越	下村 昌昭 (しもむら まさあき)	51 歳																												
⑥ 東海	福岡 幹男 (ふくおか みきお)	62 歳																												
⑦ 関西	三宅 毅 (みやけ つよし)	58 歳																												
⑧ 中国	青木 隆 (あおき たかし)	55 歳																												
⑨ 四国	河野 暁 (かわの さとる)	58 歳																												
⑩ 九州	大庭 弘毅 (おおば こうき)	61 歳																												
8. 日本サッカー後援会 会員表彰の件																														
<p>日本サッカー後援会会員として30年在籍した方に対し、永年に亘る援助に対する感謝として、以下の通り表彰したい。尚、本表彰制度は2008年より実施している。後援会からは1977年の発足以来、日本代表強化の為に毎年強化費を頂いており、その累計は約13億円に上る。</p> <p>(1)対象者：23名</p> <p>※参考：2013年12名、2012年12名、2011年17名、2010年22名、2009年48名、2008年101名</p> <p>(2)表彰内容：①感謝状及び記念楯の贈呈 ②2014年度に、日本代表戦1試合ご招待</p> <p>【参考】日本サッカー後援会からの強化費収入(過去10年)</p> <table border="0"> <tr><td>2004年度</td><td>70,000千円 (JFA 60,000千円、Lリーグ・フットサル各5,000千円)</td></tr> <tr><td>2005年度</td><td>76,000千円 (JFA 60,000千円、Lリーグ・フットサル各8,000千円)</td></tr> <tr><td>2006年度</td><td>65,000千円 (JFA 55,000千円、なでしこリーグ・フットサル各5,000千円)</td></tr> <tr><td>2007年度</td><td>64,000千円 (JFA 52,000千円、なでしこリーグ7,000千円、フットサル5,000千円)</td></tr> <tr><td>2008年度</td><td>59,000千円 (JFA 43,000千円、なでしこリーグ5,000千円、フットサル10,000千円、</td></tr> </table>	2004年度	70,000千円 (JFA 60,000千円、Lリーグ・フットサル各5,000千円)	2005年度	76,000千円 (JFA 60,000千円、Lリーグ・フットサル各8,000千円)	2006年度	65,000千円 (JFA 55,000千円、なでしこリーグ・フットサル各5,000千円)	2007年度	64,000千円 (JFA 52,000千円、なでしこリーグ7,000千円、フットサル5,000千円)	2008年度	59,000千円 (JFA 43,000千円、なでしこリーグ5,000千円、フットサル10,000千円、																				
2004年度	70,000千円 (JFA 60,000千円、Lリーグ・フットサル各5,000千円)																													
2005年度	76,000千円 (JFA 60,000千円、Lリーグ・フットサル各8,000千円)																													
2006年度	65,000千円 (JFA 55,000千円、なでしこリーグ・フットサル各5,000千円)																													
2007年度	64,000千円 (JFA 52,000千円、なでしこリーグ7,000千円、フットサル5,000千円)																													
2008年度	59,000千円 (JFA 43,000千円、なでしこリーグ5,000千円、フットサル10,000千円、																													

		JFA こころのプロジェクト 1,000 千円)
2009 年度	46,000 千円	(JFA 30,000 千円、なでしこリーグ 5,000 千円、フットサル 10,000 千円、 JFA こころのプロジェクト 1,000 千円)
2010 年度	47,000 千円	(JFA 31,000 千円、なでしこリーグ 5,000 千円、フットサル 10,000 千円、 JFA こころのプロジェクト 1,000 千円)
2011 年度	46,000 千円	(JFA 30,000 千円、なでしこリーグ 5,000 千円、フットサル 10,000 千円、 JFA こころのプロジェクト 1,000 千円)
2012 年度	48,000 千円	(JFA 32,000 千円、なでしこリーグ 5,000 千円、フットサル 10,000 千円、 JFA こころのプロジェクト 1,000 千円)
2013 年度	50,000 千円	(JFA 34,000 千円、なでしこリーグ 5,000 千円、フットサル 10,000 千円、 JFA こころのプロジェクト 1,000 千円)